

この人に会いました

今回は私たち住民と関わり合いの深い湯沢砂防事務所の所長さんいろいろな話をお伺いしました。



国土交通省北陸地方整備局
湯沢砂防事務所長
長井義樹さん

土砂災害を防止することはもちろんですが、魚道を設置したり親水性のある施設を整備し、多くの人に水に親しんでもらう場所や機会を創り出すことも事業の目的のひとつです。

大源太湖の堰堤が登録有形文化財に登録されたそうです

大源太キャニオンの中心である大源太湖をつくっているのは、大源太第1号砂防堰堤という昭和14年に完成した我が国最初のアーチ式石積砂防堰堤で「国土の歴史的景観に寄与しているもの」として平成15年に「登録有形文化財」に登録されています。観光客の皆さんへも宣伝してください。

砂防事務所は事業の必要性への理解を深めるため、いろいろな啓蒙活動を展開されていますがその事について

砂防事業は、工事ばかりでなく土砂災害防止の知識の啓蒙普及活動も行っています。毎年実施している「魚沼自然塾」は、現地視察、専門家の講演などがあります。今年も4回の実施を予定しています

豊かな地域づくり「自然と人間の共生」「定住交流の促進」などを基本方針として砂防事業を進めておられますが、19年度事業予定と概要や目的などについて教えてください。

平成19年度事業は、湯沢町内で魚野川床固工群、万太郎谷4号砂防堰堤、蓬沢第3号砂防堰堤、大源太川帯工魚道設置の工事を予定しています。谷川岳、仙ノ倉山に代表される急峻な山々に囲まれたこの地域は、風化浸食が激しいため、土砂流出による災害を受けてきました。この土砂災害を防止するため砂防事業を実施しています。

1回は7月28日ですので多くの方の参加をお待ちしています。

また、「雪国楽校応援隊」という小中学校児童生徒の総合学習の支援も実施しています。このような出前講座は、随時受け付けていますので時期や場所などご相談ください。月曜日から金曜日の毎朝8時40分頃から約5分間「ネイチャースクール」という湯沢砂防事務所の番組がFMゆきぎで放送されています。防災知識の紹介などを事務所職員が話をするコーナーもありますので是非お聞きください。

湯沢砂防事務所の事業実施区域の範囲について

湯沢砂防事務所は、湯沢町内をはじめ長岡市、小千谷市、魚沼市、南魚沼市、十日町市、川口町、津南町、長野県栄村で事業を実施しています。平成16年の中越地震で多くの河道閉塞が発生した旧山古志村での対策も実施しているところで、当時連日報道されていた特に大規模な東竹沢地区、寺野地区の河道閉塞対策は、ほぼ完成しましたが、まだまだ多くの地すべりがありそれらの対策を急ピッチで進めているところです。

今後事業を進めて行く中で町民にお願いすることや注意してもらいたいことがありますか。

例年、7月の中旬から下旬にかけて梅雨が明けますが、全国で梅雨明け前の大雨で多くの災害が発生しています。最近の湯沢町内では、平成10年に魚野川などで被害がありましたし、平成16年7月には、五十嵐川、刈谷田川流域で被害がありました。土砂災害に対する心構えは、気象情報に注意するとともに、前兆現象がありますので、山や川の様子がいとも違うと思ったら要注意です。そして日頃から家族、学校、職場で避難や危険な箇所などについて話し合っておくことが大事です。

砂防工事では、登山道を工事用道路として使用している場合が多くあります。事故がないように誘導員や注意看板の設置をしていますが、皆さんのご協力もお願いします。

★インタビューを終えて

砂防の仕事は地域の山、川、大地などの自然を守りながら自然災害を防ぐという大きな使命があります。豊かな大自然に恵まれた湯沢町ですが、それだけ土砂災害や河川の氾濫など、自然災害が多いのも確かです。それゆえ、私たち町民も砂防事務所事業の必要性を理解し、協力しながら自然、災害を守っていくことが必要であることを痛感いたしました。

インタビュー 柿崎直治

師田 保

編集後記
広報委員会のメンバーが新しくなりました。



委員 南雲 正



委員 田村正幸



委員 南雲和夫



委員 師田 保



副委員長 森下昌次



委員長 柿崎直治

これから4年間、皆様に愛され親しまれる議会だよりを目指して一生懸命がんばりますので、どうぞよろしくお祈りします。

編集
湯沢町議会
広報対策特別委員会